



# 2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月4日  
株式会社ニコン

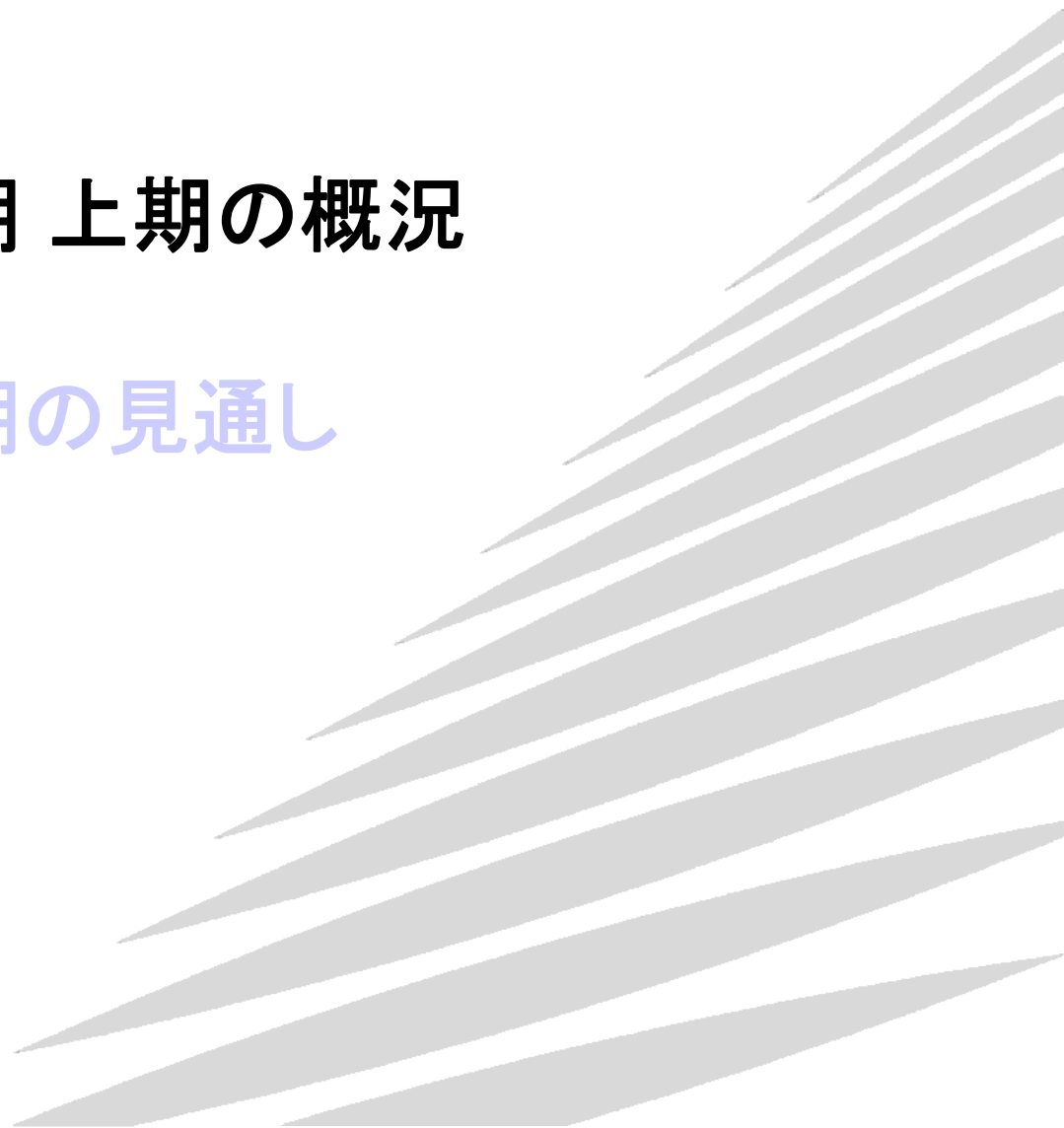
※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

# Agenda

I. 2011年3月期 上期の概況

II. 2011年3月期の見通し

III. 参考データ



# 2011年3月期 上期 連結売上高・損益



単位: 億円	10年3月期 上期実績	前回予想 (8/5)	11年3月期 上期実績	前上期実績比	前回予想比
売上高	3,681	3,980	3,980	+299	-
営業利益 <small>売上高比</small>	▲195 -%	135 3.4%	152 3.8%	+347	+17
経常利益 <small>売上高比</small>	▲223 -%	150 3.8%	178 4.5%	+401	+28
当期純利益 <small>売上高比</small>	▲177 -%	90 2.3%	106 2.7%	+283	+16
FCF	156	—	649	+493	—
USドル	96円	91円	89円	売上高への影響額 ▲248億円 ▲44億円	
ユーロ	133円	114円	114円	営業利益への影響額 ▲119億円 ▲13億円	

急激な円高のなか、前上期比8%増収・黒字転換。前回予想比でも利益は上振れ。映像事業が引続き好調、精機とインストも回復基調

# 2011年3月期 第2四半期 連結売上高・損益

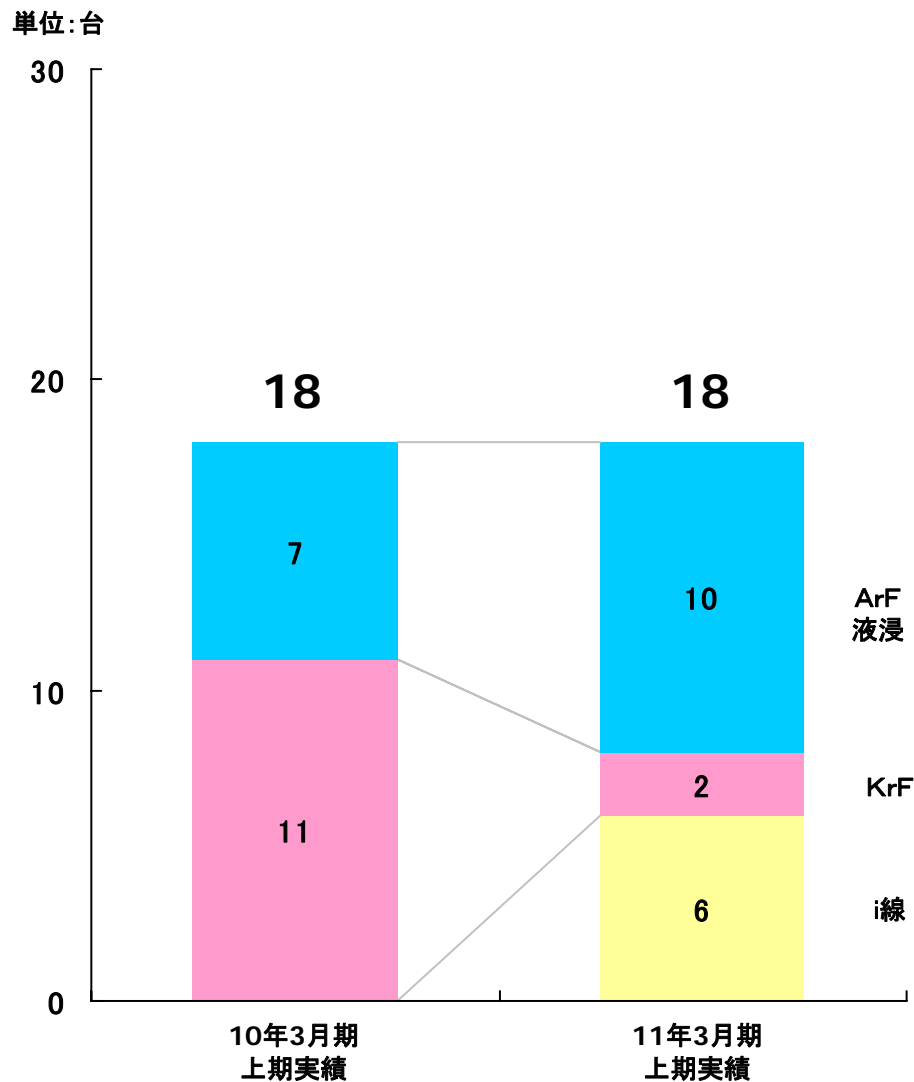


単位:億円	10年3月期 第2四半期実績	前回予想 (8/5)	11年3月期 第2四半期実績	前第2四半期 実績比	前回予想比
売上高	1,929	1,928	1,928	▲1	—
営業利益 <small>売上高比</small>	▲203 -%	22 1.1%	39 2.0%	+242	+17
経常利益 <small>売上高比</small>	▲210 -%	23 1.2%	51 2.6%	+261	+28
当期純利益 <small>売上高比</small>	▲137 -%	8 0.4%	25 1.3%	+162	+17
USドル	94円	90円	86円	売上高への影響額 ▲155億円 ▲44億円	
ユーロ	134円	110円	111円	営業利益への影響額 ▲86億円 ▲13億円	

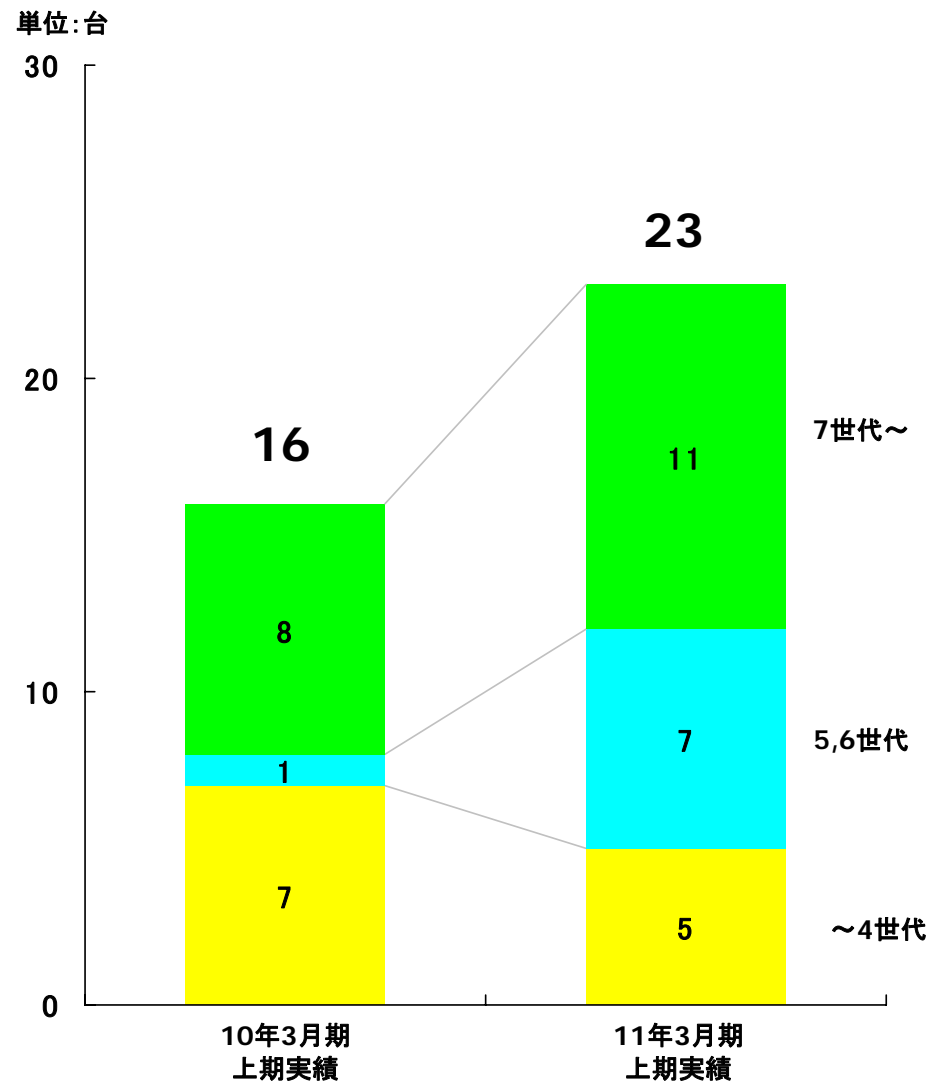
	10年3月期 上期実績	前回予想 (8/5)	11年3月期 上期実績	前上期実績比	前回予想比
売上高	663億円	830億円	807億円	+144	▲23
営業利益 <small>売上高比</small>	▲440億円 <small>-%</small>	▲45億円 <small>-%</small>	▲47億円 <small>-%</small>	+393	▲2
半導体露光装置 新品/中古	18/4台	17/12台	18/12台	-/+8	+1/-
液晶露光装置	16台	25台	23台	+7	▲2

製品ミックスの改善・液晶露光装置の販売台数増加に加え、棚卸廃棄評価減の大幅減少により、前上期比増収・赤字幅縮小。前回予想比では、半導体1台が前倒しで増加、液晶2台が3Qへ検収ずれ込みで減少、差引き若干の下振れ

## 半導体露光装置光源別販売台数



## 液晶露光装置世代別販売台数



# 2011年3月期 上期 映像カンパニー



	10年3月期 上期実績	前回予想 (8/5)	11年3月期 上期実績	前上期実績比	前回予想比
売上高	2,753億円	2,800億円	2,818億円	+65	+18
営業利益 売上高比	265億円 9.6%	210億円 7.5%	223億円 7.9%	▲42	+13
デジタル一眼レフ カメラ	166万台	195万台	190万台	+24	▲5
交換レンズ	245万本	285万本	295万本	+50	+10
コンパクト デジタルカメラ	513万台	620万台	670万台	+157	+50

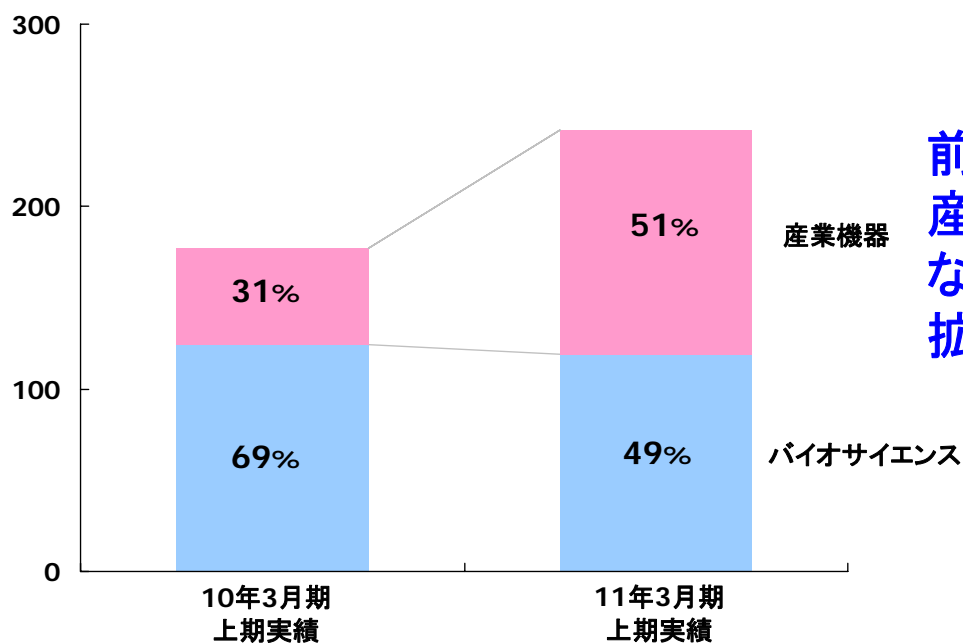
一眼レフ・交換レンズ・コンパクトタイプともに前上期比販売台数二桁増とするも、円高の影響で微増収・減益にとどまる。前回予想比ではドル安を吸収し上振れ

# 2011年3月期 上期 インストルメンツカンパニー



	10年3月期 上期実績	前回予想 (8/5)	11年3月期 上期実績	前上期実績比	前回予想比
売上高	178億円	250億円	242億円	+64	▲8
営業利益 売上高比	▲26億円 -%	▲40億円 -%	▲41億円 -%	▲15	▲1

単位: 億円



前上期比、バイオサイエンス分野は微減、産業機器分野は大幅増収。のれん代償却などが加わったほか、円高により赤字幅が拡大したが、想定範囲内

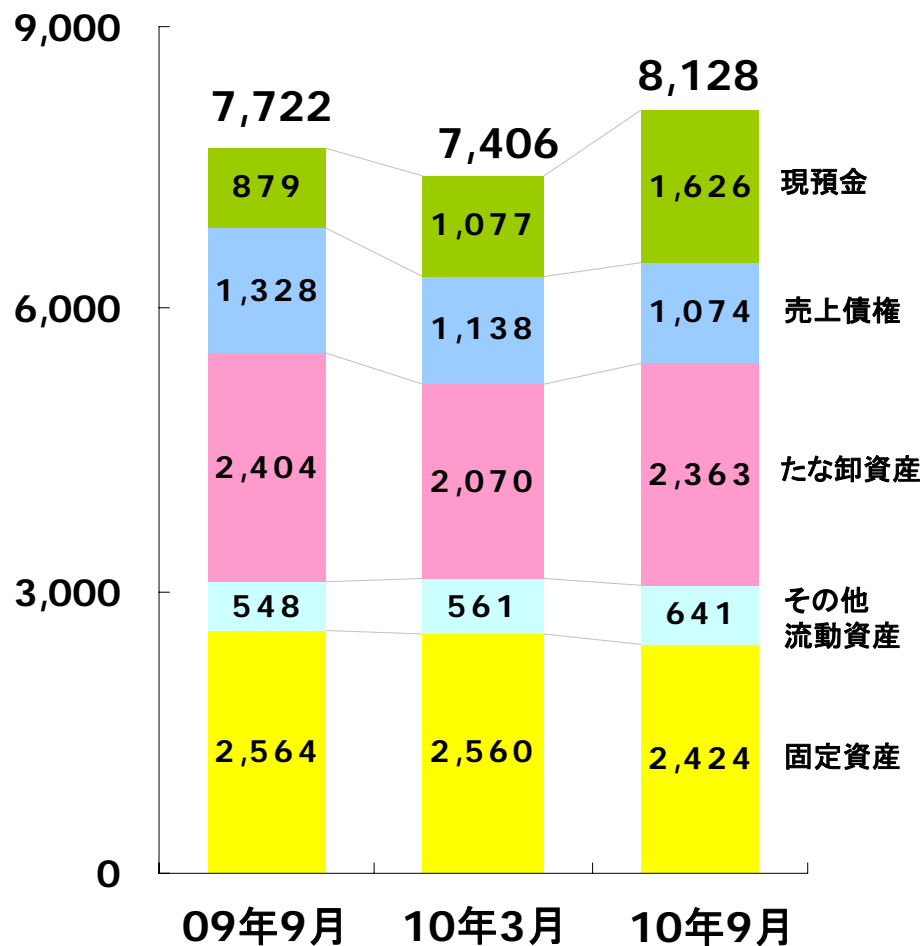




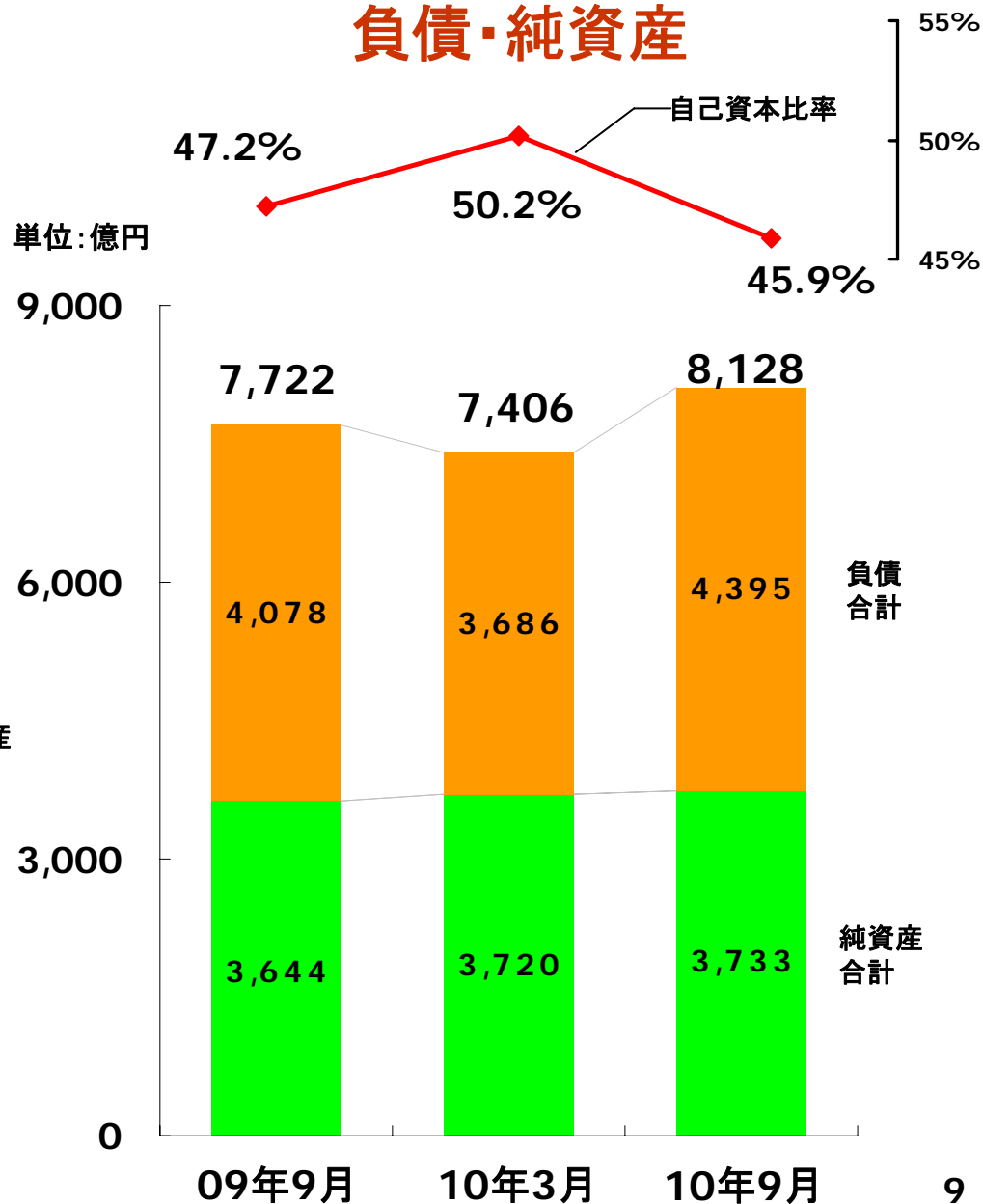
## 資産

## 負債・純資産

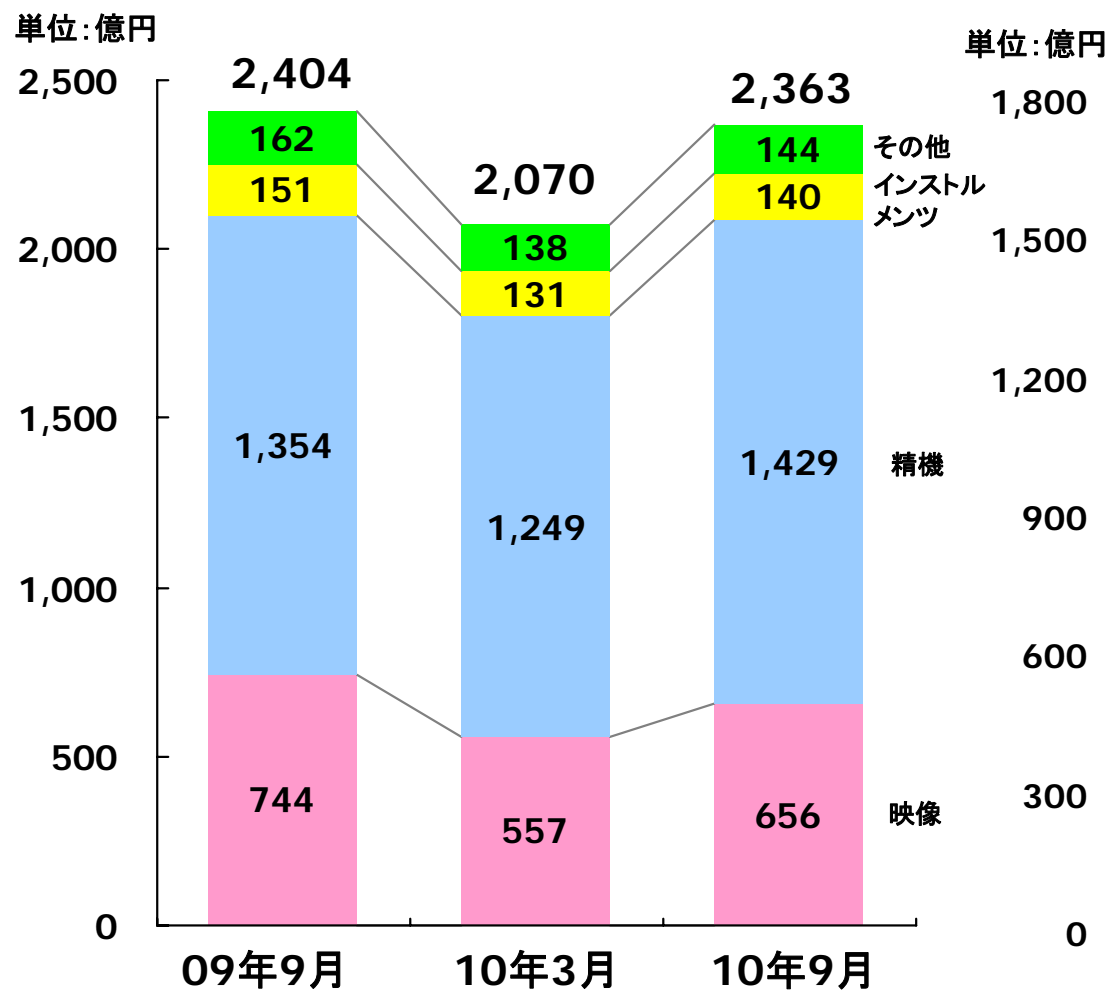
単位:億円



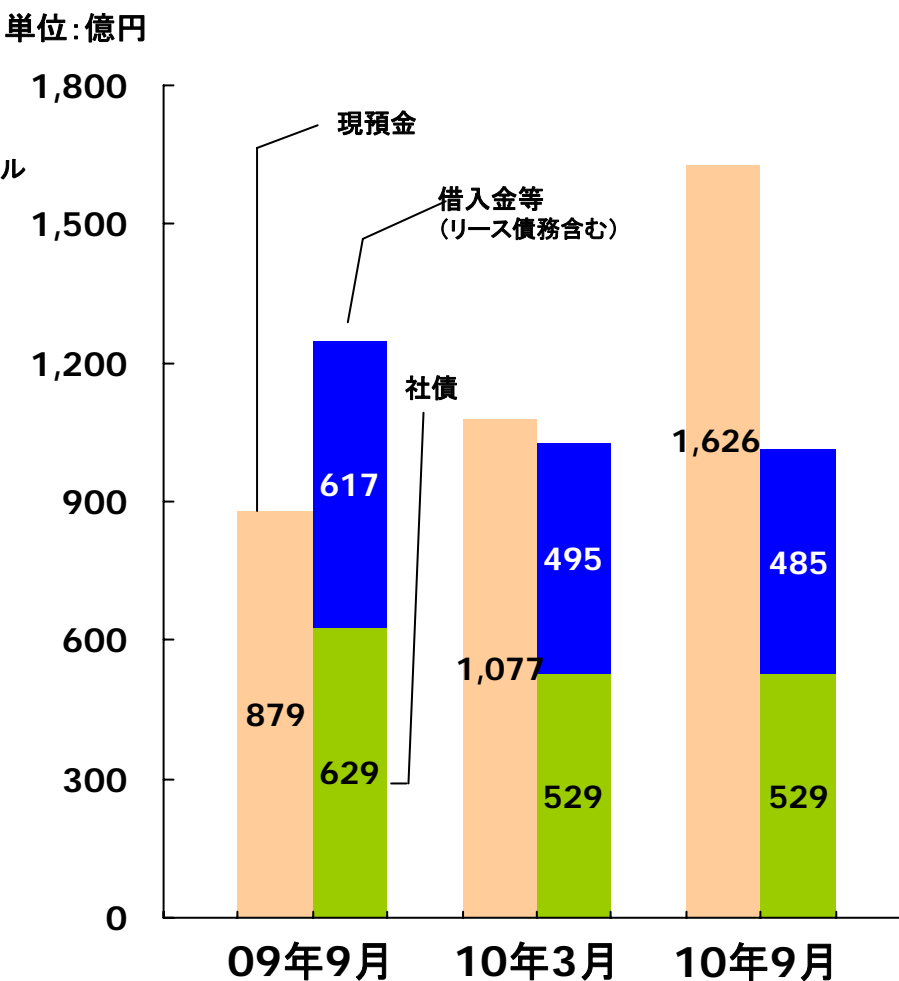
単位:億円



## 棚卸資産



## 現預金・有利子負債



◆ 前上期比、一層の円高が進行するなか、全ての事業領域で増収、営業利益は大幅に改善

【精機】

- ・前上期は棚卸廃棄評価減の追加により大きな赤字になったが、今上期は製品ミックスの改善・液晶露光装置の販売台数増加もあり、増収・赤字幅縮小
- ・液浸新製品S620Dは、スループット180枚/h以上、重ね精度2.5nm以下を達成

【映像】

- ・一眼レフ・交換レンズ・コンパクトタイプともに販売台数は二桁増なるも、円高の影響で微増収・減益にとどまる

【インストルメンツ】

- ・バイオサイエンス分野は微減、産業機器分野は大幅増収
- ・赤字幅が拡大したが、想定範囲内

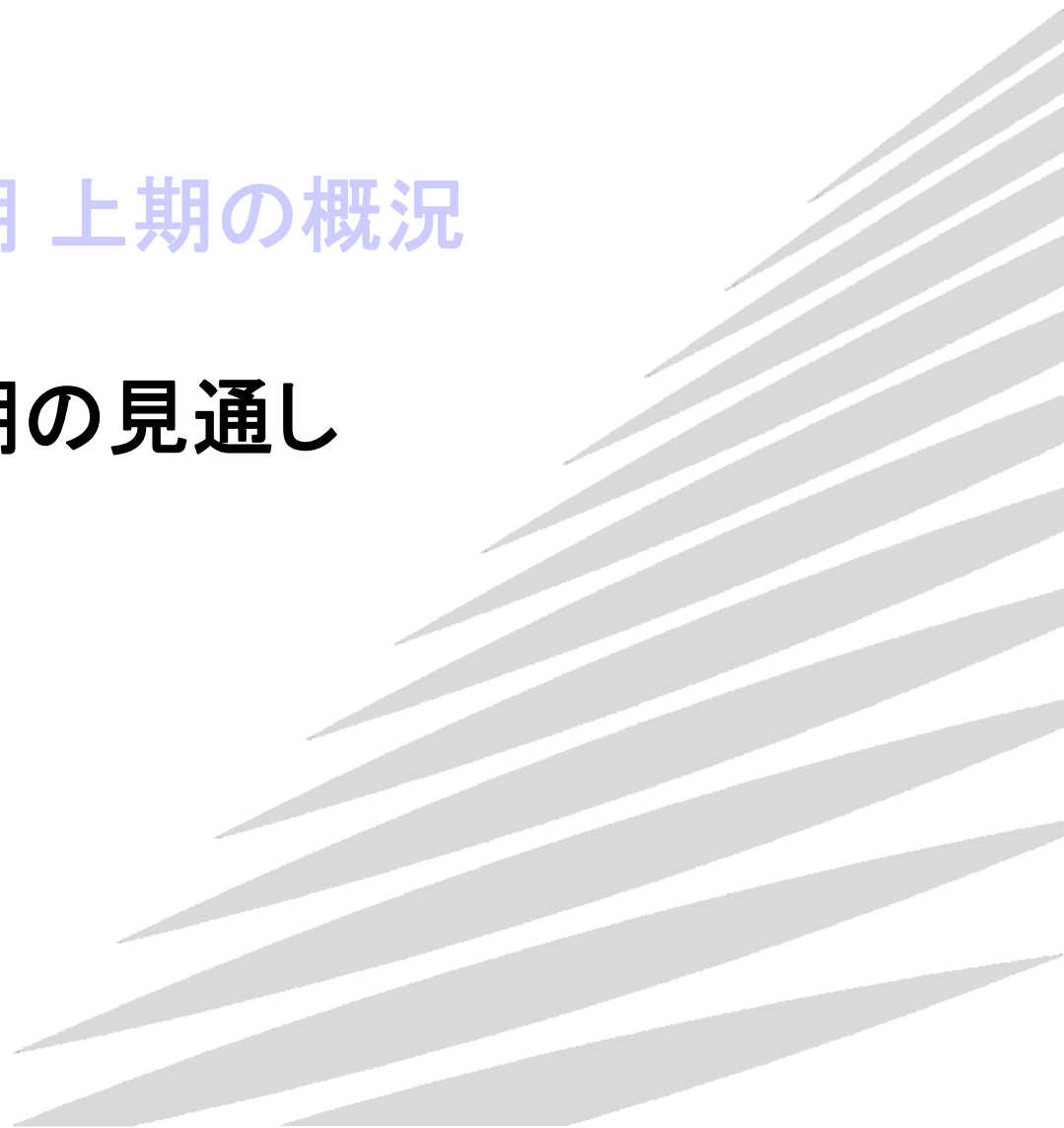
◆ 中間配当金は 5円

# Agenda

I. 2011年3月期 上期の概況

**II. 2011年3月期の見通し**

III. 参考データ



# 2011年3月期見通し 連結売上高・損益



単位:億円	10年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/5)	上期 下期	11年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比	前回 予想比	上期 下期
売上高	7,855	$\frac{3,681}{4,174}$	8,900	$\frac{3,980}{4,920}$	8,700	$\frac{3,980}{4,720}$	+845	▲200	$\frac{-}{\Delta 200}$
営業利益 売上高比	▲139 -%	$\frac{\Delta 195}{56}$	520 5.8%	$\frac{135}{385}$	480 5.5%	$\frac{152}{328}$	+619	▲40	$\frac{+17}{\Delta 57}$
経常利益 売上高比	▲153 -%	$\frac{\Delta 223}{70}$	500 5.6%	$\frac{150}{350}$	490 5.6%	$\frac{178}{312}$	+643	▲10	$\frac{+28}{\Delta 38}$
当期純利益 売上高比	▲126 -%	$\frac{\Delta 177}{51}$	300 3.4%	$\frac{90}{210}$	300 3.4%	$\frac{106}{194}$	+426	-	$\frac{+16}{\Delta 16}$
FCF	564	$\frac{156}{408}$	580		650		+86	+70	
USドル	93	$\frac{96}{90}$	91	$\frac{91}{90}$	84	$\frac{89}{80}$			
ユーロ	131	$\frac{133}{129}$	112	$\frac{114}{110}$	112	$\frac{114}{110}$			

下期の米ドル前提を10円円高に変更。一層のコストダウンなどの努力をするが、下期景況の不透明性があり、売上高・営業利益・経常利益を下方修正

\* 前回予想とは2010年8月5日発表における予想です。

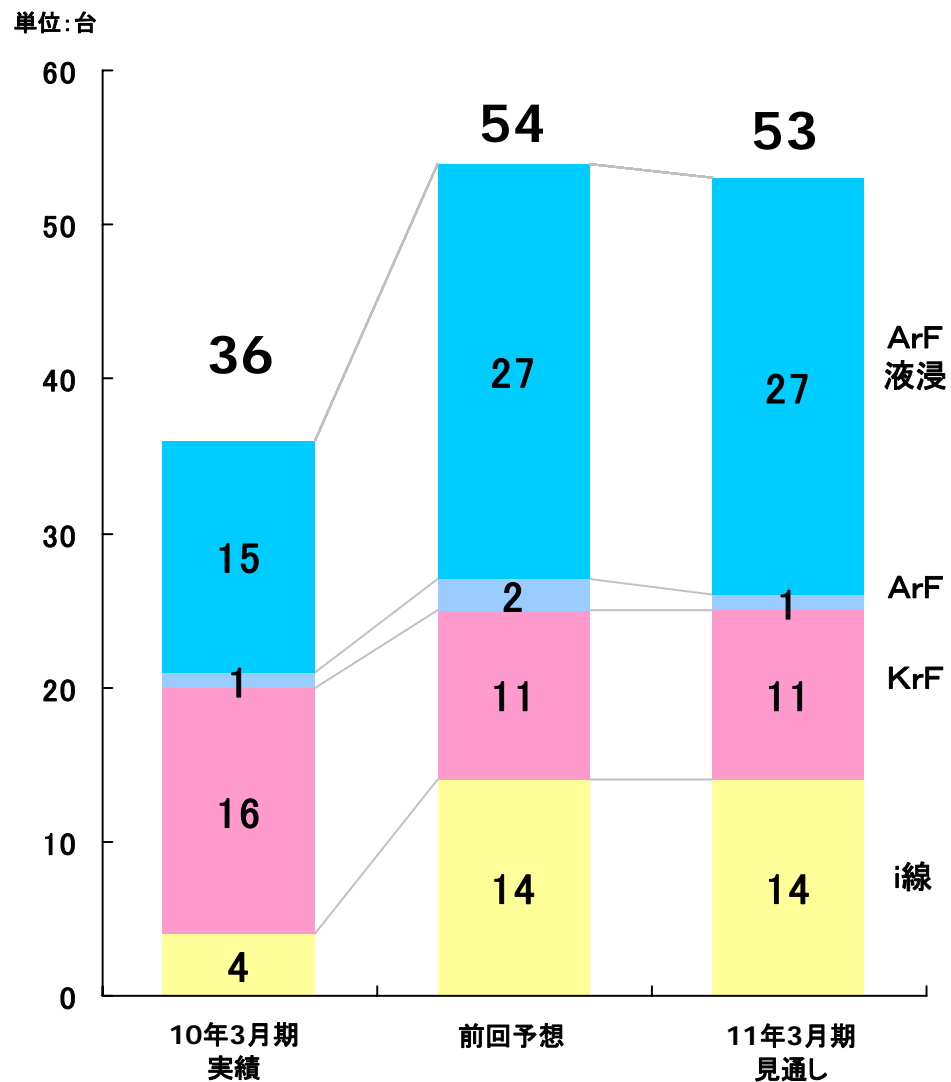
# 2011年3月期見通し 精機カンパニー



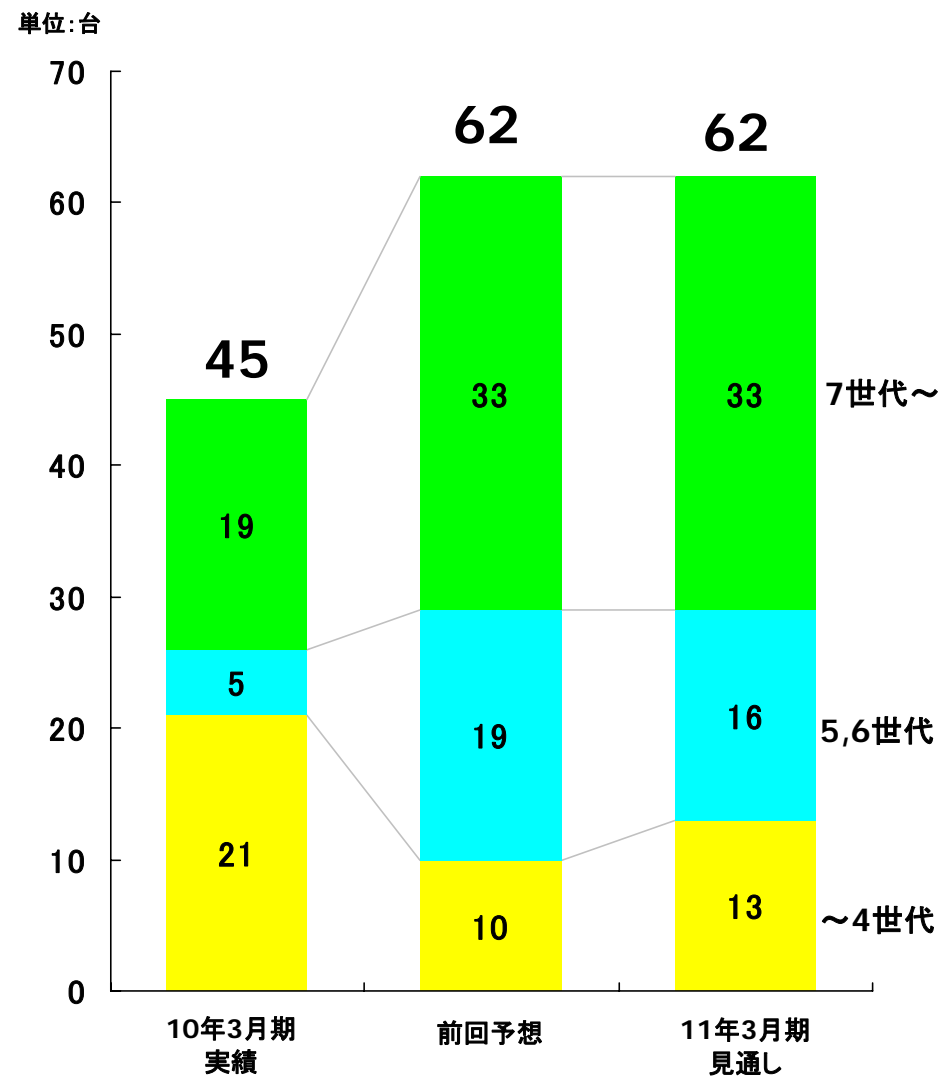
	10年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/5)	上期 下期	11年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,501億円	$\frac{663}{838}$	2,200億円	$\frac{830}{1,370}$	2,150億円	$\frac{807}{1,343}$
営業利益 <small>売上高比</small>	▲586億円 <small>-%</small>	$\frac{\blacktriangle 440}{\blacktriangle 146}$	60億円 <small>2.7%</small>	$\frac{\blacktriangle 45}{105}$	40億円 <small>1.9%</small>	$\frac{\blacktriangle 47}{87}$
半導体露光装置 新品/中古	36/13台	$\frac{18/4}{18/9}$	54/22台	$\frac{17/12}{37/10}$	53/24台	$\frac{18/12}{35/12}$
液晶露光装置	45台	$\frac{16}{29}$	62台	$\frac{25}{37}$	62台	$\frac{23}{39}$
半導体露光装置 市場規模	112台		220台程度		220台程度	
液晶露光装置 市場規模	74台		110台程度		110台程度	

半導体露光装置1台減、液晶露光装置製品ミックス変化、ドル安などで、売上高・営業利益を下方修正。但し、精機事業の黒字化計画に変更なし

## 半導体露光装置光源別販売台数



## 液晶露光装置世代別販売台数



- ◆ 22nm世代は液浸ダブルパターンニングが現実解  
それ以降の世代についても拡張性は充分あり
- ◆ 1x nm世代のリソ技術は液浸ダブルパターンニングの拡張と EUVLの両睨み  
16 nm世代のニーズは2016年頃に本格化。  
EUVL装置の生命線となるマスク・光源・レジスト材料の  
量産適用時期の見極めが必要
- ◆ EUVLの要素開発も着実に進めている  
1x nm世代をカバー出来る高NA(0.35以上)の光学系開発に  
注力



# 2011年3月期見通し 映像カンパニー



	10年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/5)	上期 下期	11年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,695億円	$\frac{2,753}{2,942}$	5,900億円	$\frac{2,800}{3,100}$	5,750億円	$\frac{2,818}{2,932}$
営業利益 <small>売上高比</small>	521億円 9.1%	$\frac{265}{256}$	480億円 8.1%	$\frac{210}{270}$	460億円 8.0%	$\frac{223}{237}$
デジタル一眼レフ カメラ	367万台	$\frac{166}{201}$	425万台	$\frac{195}{230}$	425万台	$\frac{190}{235}$
交換レンズ	545万本	$\frac{245}{300}$	620万本	$\frac{285}{335}$	635万本	$\frac{295}{340}$
コンパクトデジタル カメラ	1,151万台	$\frac{513}{638}$	1,350万台	$\frac{620}{730}$	1,400万台	$\frac{670}{730}$
デジタル一眼レフ カメラ市場規模	1,088万台		1,220万台		1,300万台	
交換レンズ市場規模	1,772万本		2,000万本		2,200万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,274万台		11,000万台		11,200万台	

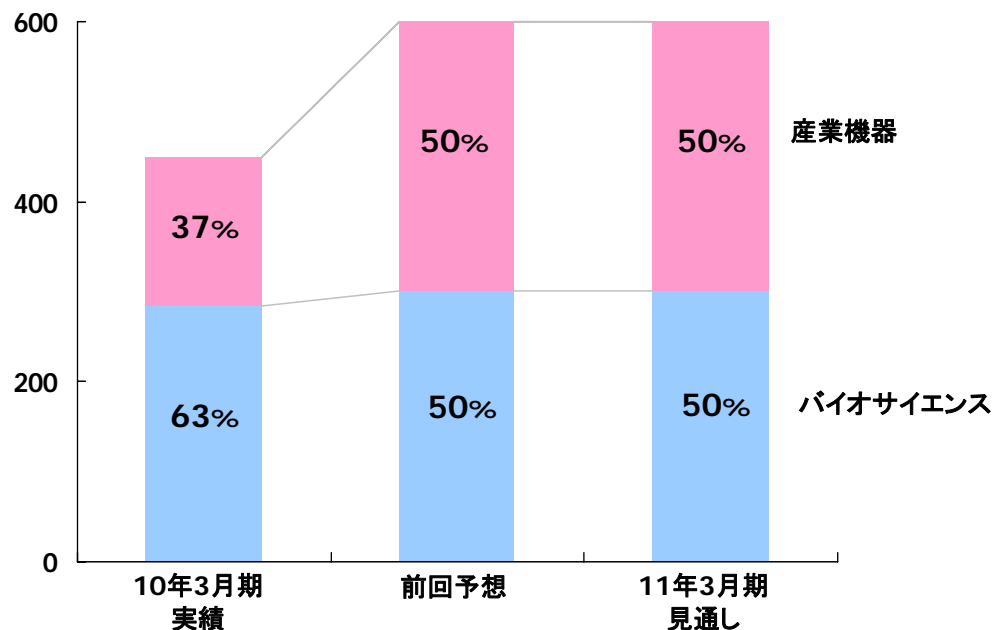
一眼レフは、上期の未達を下期で挽回。交換レンズ・コンパクトタイプは上方修正。  
為替前提変更の影響で、通期の売上高と営業利益を下方修正

# 2011年3月期見通し インストルメンツカンパニー



	10年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (8/5)	上期 下期	11年3月期 見通し	上期 下期
売上高	451億円	$\frac{178}{273}$	600億円	$\frac{250}{350}$	600億円	$\frac{242}{358}$
営業利益 売上高比	▲93億円 -%	$\frac{▲26}{▲67}$	▲45億円 -%	$\frac{▲40}{▲5}$	▲50億円 -%	$\frac{▲41}{▲9}$

単位: 億円

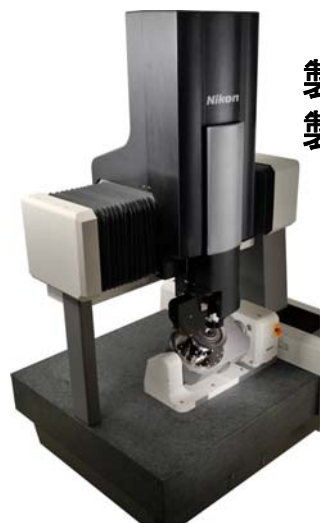


円高に加えて競争激化もあり、  
営業利益を下方修正

# インストルメンツカンパニーの新製品群



## 精密計測技術で産業分野を支える



製品性能の向上と  
製造工程の効率向上を実現

非接触マルチセンサー  
3D計測システム

**HN-6060**

## 顕微鏡観察のスタイルを広げる

観察と検査・撮影の幅広いニーズに応える

デジタルマイクロスコープ

**ShuttlePix(シャトルピクス)**

**P-400R**



## バイオ最先端の研究に応える

生細胞・生組織などの蛍光イメージングを実現

高速多光子共焦点レーザー顕微鏡システム

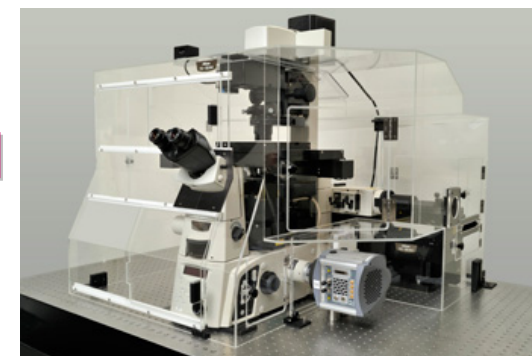
**A1R MP**



超解像顕微鏡

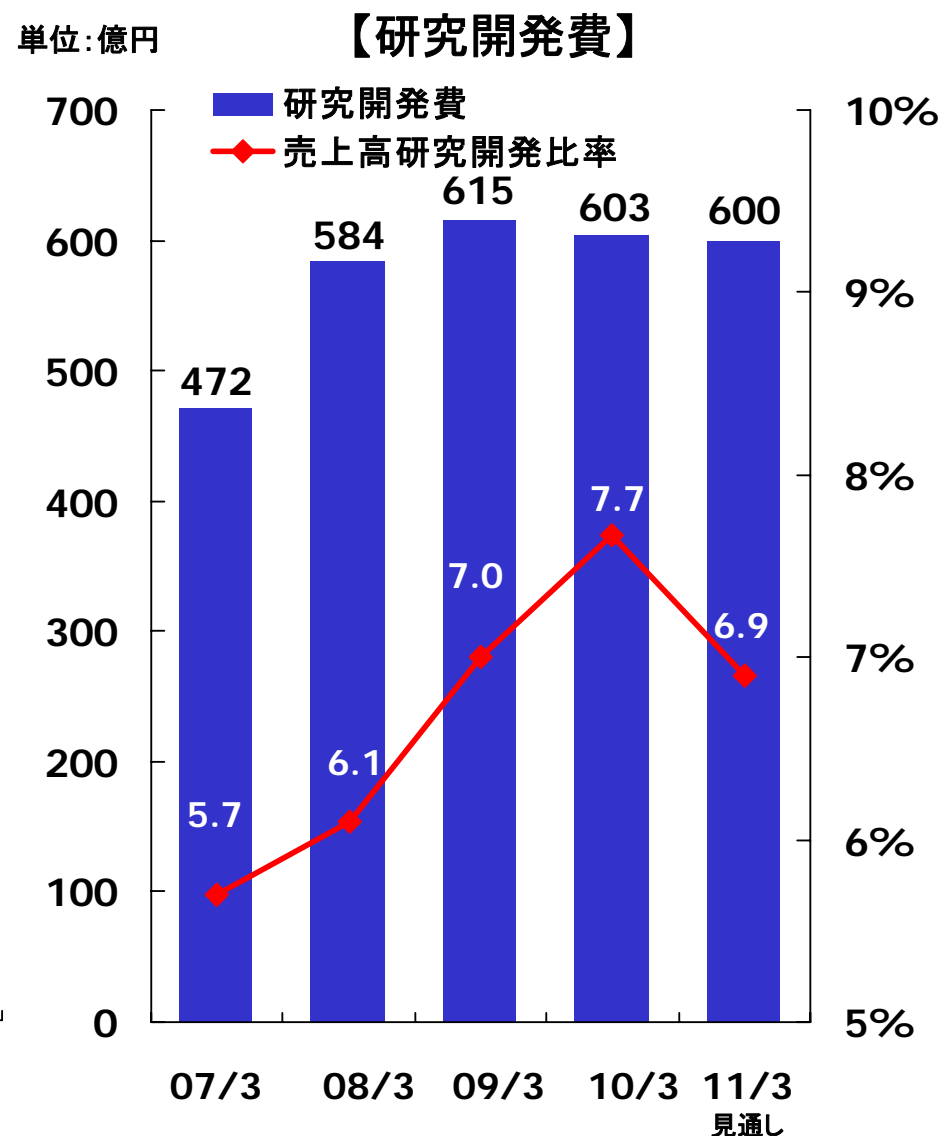
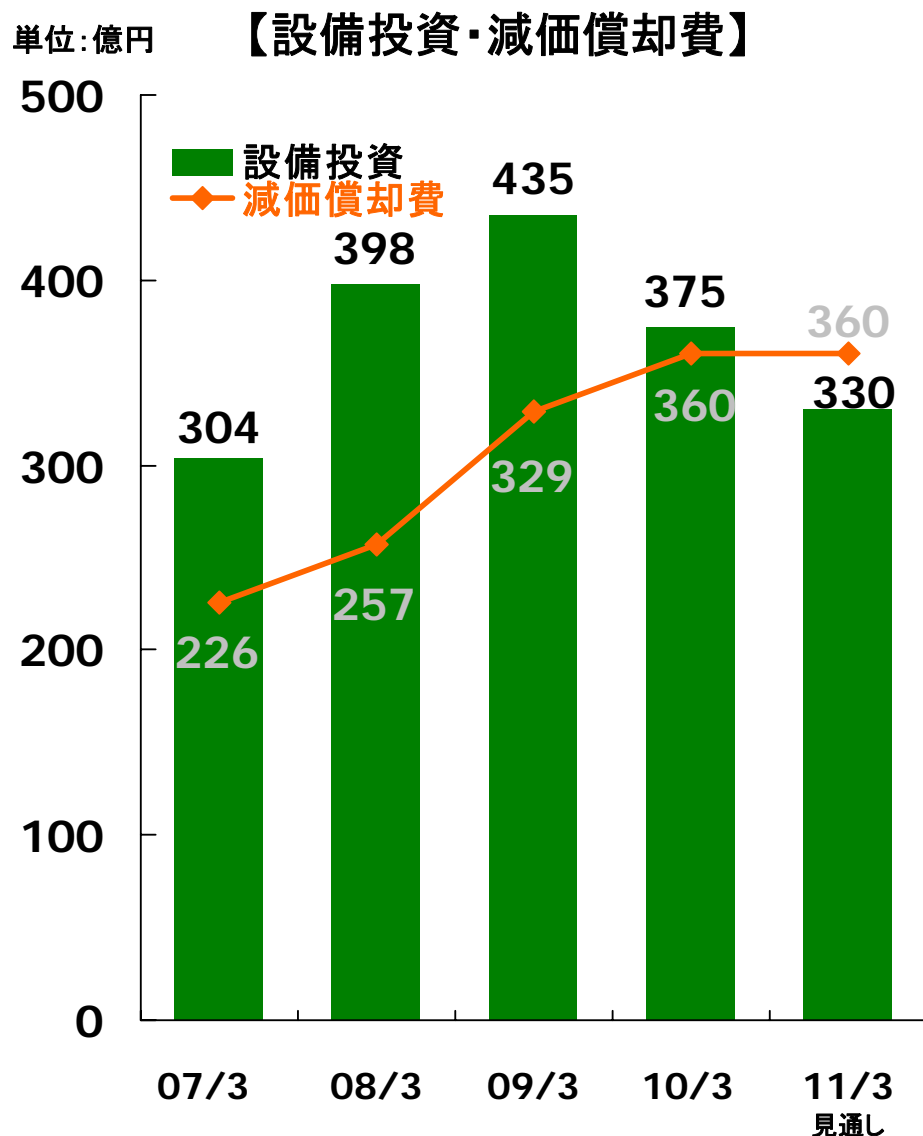
**N-SIM**

**N-STORM**



▲N-SIM

# 2011年3月期見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費



注)09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

◆ドル安へ為替前提を変更し、通期の売上高・営業利益・経常利益を下方修正。リードタイム短縮など、一層のコストダウンを推進

## 【精機】

- ・液浸新製品S620Dは、お客様プロセス条件下で目標性能達成に注力中
- ・高精細中小型パネル市場が活況。生産能力増強に向け新棟建設

## 【映像】

- ・新発売のD7000、D3100 好評。新世代カメラ開発中
- ・新興国市場の開拓、原価低減、サービス力の向上に引続き注力

## 【インストルメンツ】

- ・新製品の非接触マルチセンサー3D計測システムHN-6060、及びデジタルマイクロスコープShuttlePix P-400R 好評

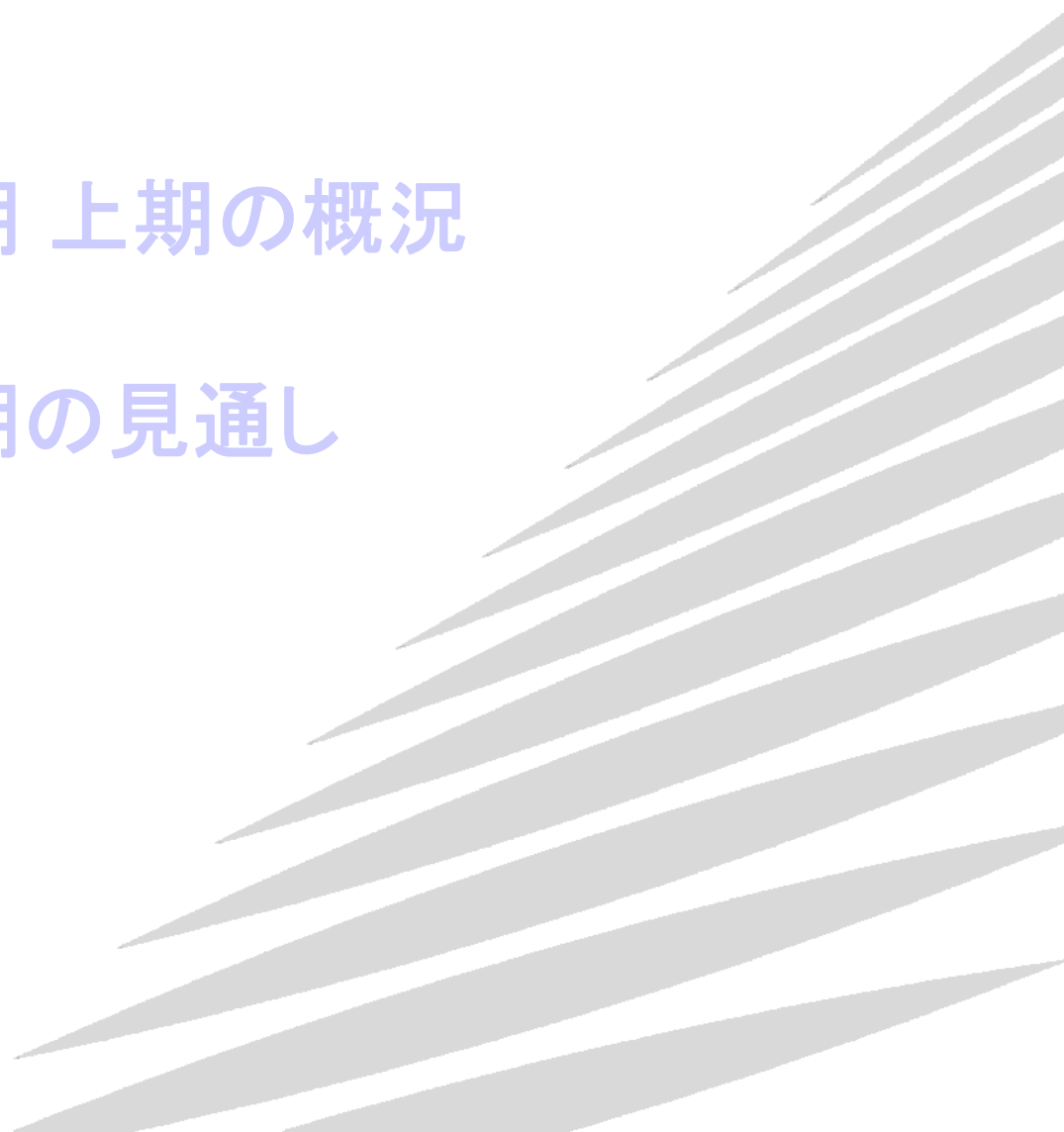
◆年間配当金 19円の予定は変更なし

# Agenda

I. 2011年3月期 上期の概況

II. 2011年3月期の見通し

III. 参考データ



## 2011年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	11年3月期 下期前提	売上高 下期	営業利益 下期
USドル	80 円	約 25 億円	約 6 億円
ユーロ	110 円	約 8 億円	約 5 億円

# 参考データ 2011年3月期業績見通し



単位：億円

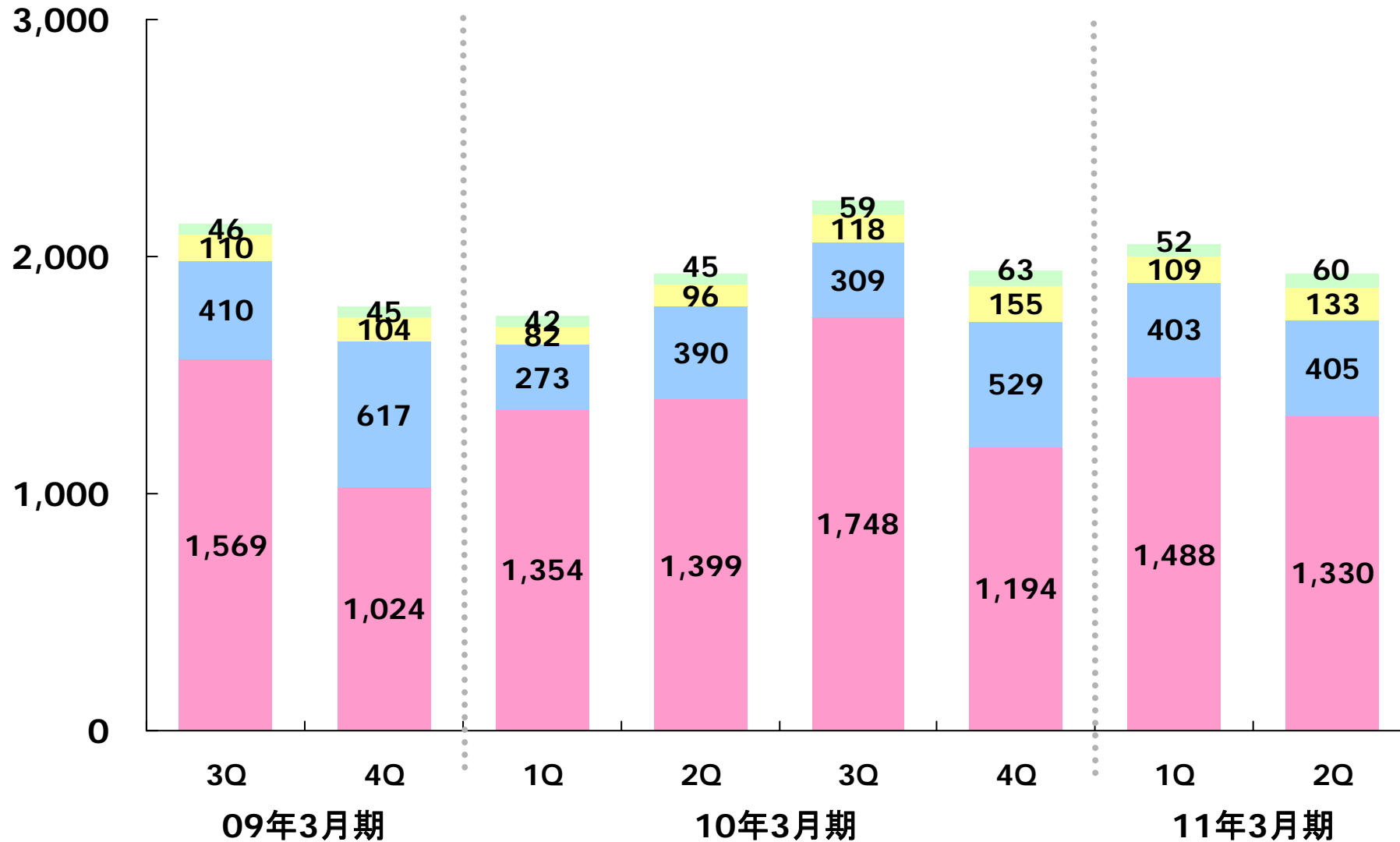
		10年3月期 実績		前回予想 (8/5)		11年3月期 見通し	
営業利益	上期	▲139	▲195	520	135	480	152
	下期		56		385		328
営業外損益		▲14		▲20		10	
経常利益	上期	▲153	▲223	500	150	490	178
	下期		70		350		312
特別損益		▲23		▲50		▲60	
法人税等		▲50		150		130	
当期純利益	上期	▲126	▲177	300	90	300	106
	下期		51		210		194



# 参考データ 四半期セグメント別売上高推移



単位:億円  
3,000

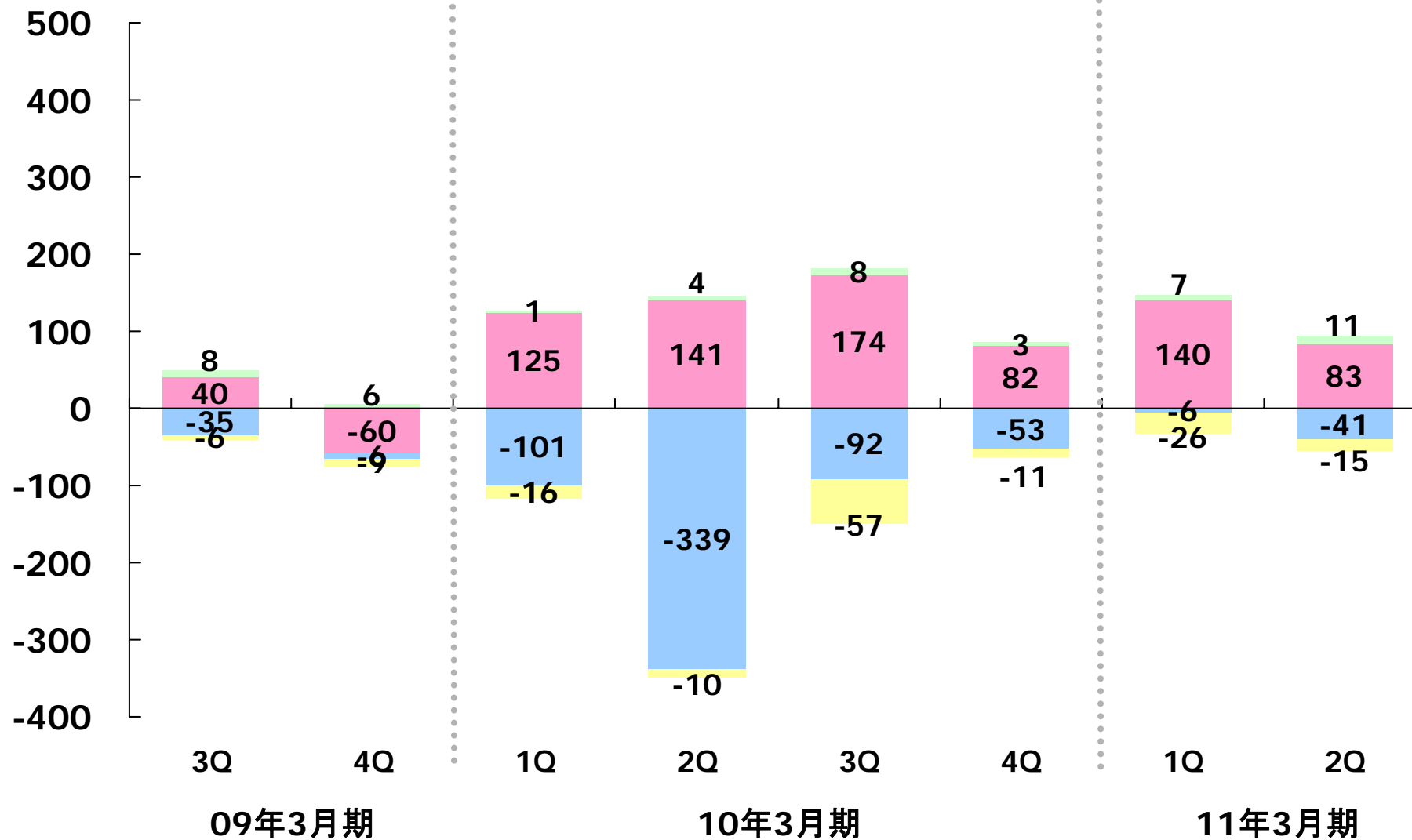


映像カンパニー
  精機カンパニー
  インストルメンツカンパニー
  その他の事業

# 参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



単位:億円



映像カンパニー
  精機カンパニー
  インストルメンツカンパニー
  その他の事業